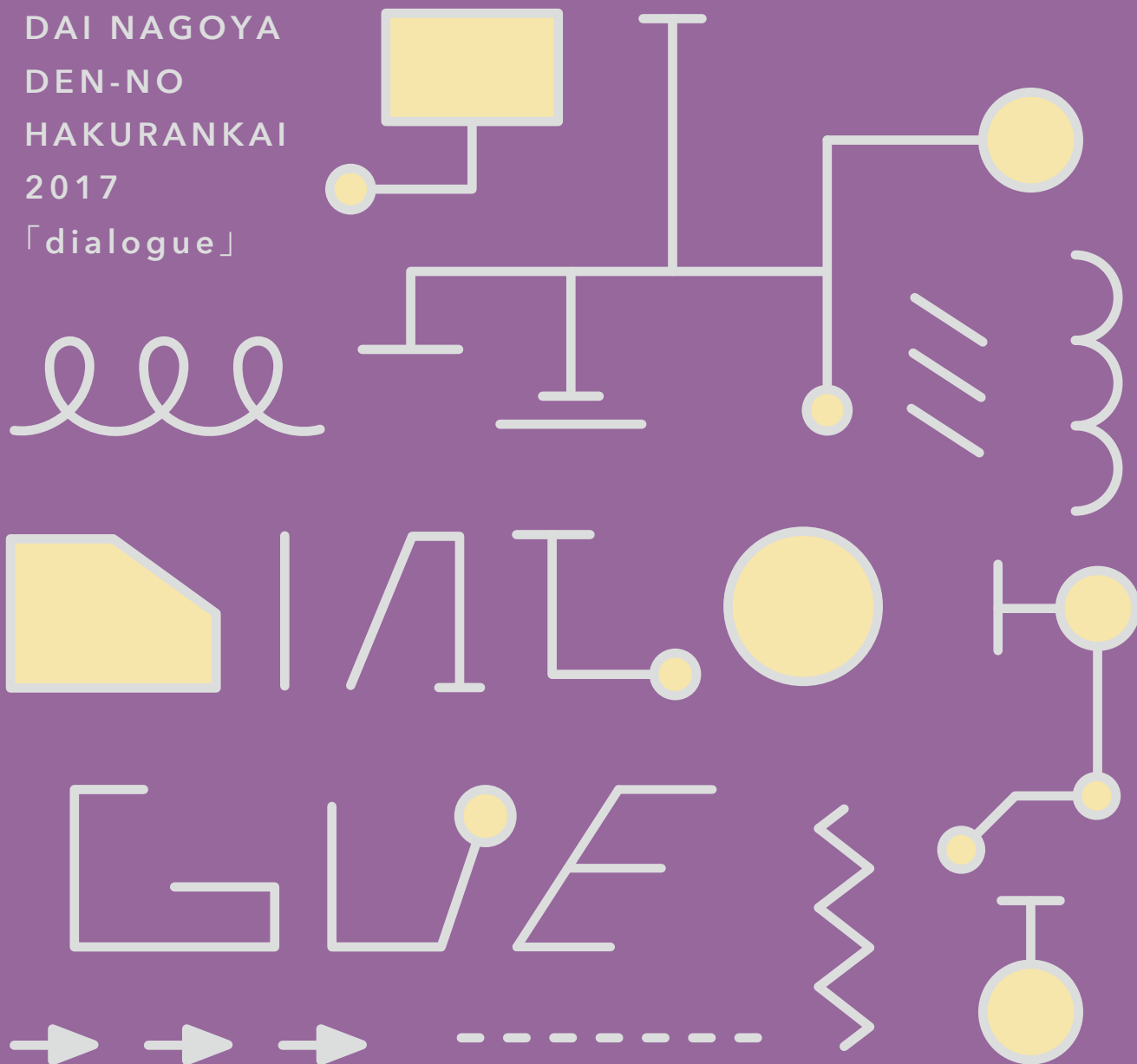


DAI NAGOYA  
DEN-NO  
HAKURANKAI  
2017  
「dialogue」



大名古屋電脳博覧会 2017 特別企画

# dialogue

ダイアローグ

2017.9.9(土) 14:00/18:00 ※開場は各30分前

東文化小劇場 ホール 全席自由

入場料 一般2,000円 / 学生・友の会・障がい者等1,500円(前売当日共) ※未就学児入場不可

チケット発売日 7月21日(金)

チケット取扱 東文化小劇場・ギャラリー矢田他、名古屋市文化振興事業団が管理運営する施設窓口

●東文化小劇場・ギャラリー矢田窓口: TEL 052-719-0430 (平日9:00-20:00 / 日祝9:00-17:00 / 月曜休・休日の場合はその翌日)

●名古屋市文化振興事業団チケットガイド: TEL052-249-9387 (平日9:00-17:00 / 郵送対応可)

※その他名古屋市文化振興事業団が管理運営する 施設窓口(土日祝も営業)でもお求めいただけます。

nagoyadenno.com

# dialogue

ダイアローグ

ディレクション 伏木 啓

ダイアグラム・デザイン 森 真弓

インタラクティブ・デザイン 外山貴彦

オブジェクト・デザイン 井垣理史

サウンド・デザイン 牛島安希子

パフォーマンス

野老真吾 / 下澤奏予 / 鈴木寛子

林 大貴 / 林 菜々子

テクニカルスタッフ

せきみつほ / 大野友莉 / 後藤紀郁 / 山本響子 ほか

音響 岡野憲右

制作 名古屋電脳博覧会 2017dialogue 実行委員会

## 名古屋電脳博覧会 2017

2017.9.6.(水)ー10(日)

10:00ー19:00 \*最終日は17:00まで

名古屋市民ギャラリー矢田  
第1ー7展示室 入場無料

公開プレゼンテーション  
9.10(日) 13:00ー16:00

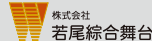
●特別協賛

Rinnai

●協賛



東芝エルティエンジニアリング株式会社



●協力



外山貴彦

TOYAMA TAKAHIKO

メディアアートやメディアデザインを専門領域とし、複合的なメディア表現やデザイン分野での応用を主な研究課題としている。また、インタラクティブ作品やメディア作品を手がけるプロジェクトグループ「スイッチ」を運営し、作品制作などを行なっている。名古屋造形大学造形学部デジタルメディアデザイン(来年度からメディアデザインコース)准教授。

井垣理史

IGAKI MASASHI

愛知県立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。空間表現を専門とし、様々な素材を用いて「際」や「間」を浮かび上がらせるインスタレーションを制作している。また、「廃材」「資材」が循環する仕組みのデザインを研究課題とし、ソノタデザイン研究所を主宰している。名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科准教授。

牛島安希子

USHIJIMA AKIKO

作曲家。音楽家。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。ハープ王立音楽院作曲専攻修士課程修了。生楽器・電子音響のための室内楽作品や映像・テキストを取り入れたパフォーマンス作品を制作。作品はアメリカ、イギリス、オランダ、ベルギーの現代音楽祭などで演奏されている。現在、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学にて非常勤講師。現代音楽舞台研究会副代表。

●お問い合わせ

名古屋市東文化小劇場  
〒461-0047 名古屋市東区大幸南1-1-10 カルポート東4F  
TEL:052-719-0430 FAX:052-719-0440  
Mail:higashi-yada@bunka758.or.jp

●アクセス

- ・地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」下車、1番出口南へ徒歩5分
- ・ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」下車、南へ徒歩3分
- ・市バス「大幸」下車、徒歩5分(名駅15号系統、東巡回系統)

●主催

名古屋文化振興事業団 [東文化小劇場]

2017.9.9(土) 14:00/18:00

東文化小劇場 ホール 全席自由

わたしたちの日常において、デジタルメディアの  
介在しない状況は、もはや考えられなくなっています。

そればかりか、一定の条件下では、  
人工知能が人の思考を凌駕する現在、

わたしたちのコミュニケーションの形態や環境も  
刻々と変化しています。

そのような状況における「わたし」と「あなた」という  
二者の素朴な関係性を起点として、

相互の作用による行為や行動をもとに、  
パフォーマンス作品へと発展させます。

伏木 啓

FUSHIKI KEI

映像表現及び、複数のメディアを扱ったパフォーマンスやインスタレーションを専門としている。時間意識や記憶における線形性と非線形性の重なりを主題とした作品や、特定の場所の歴史的、空間的特徴にアプローチした作品などを制作している。名古屋学芸大学メディア造形学部映像メディア学科 准教授。

森 真弓

MORI MAYUMI

東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。ヒト、モノ、場所、時間などの間に存在する「接点」を表出させることをテーマに、光、音、映像によるインスタレーション作品の制作、各種インターフェースデザイン、コンセプトデザイン、イベントプランニングなどを行っている。愛知県立芸術大学美術学部デザイン工芸科准教授。

